

演じる



演じるとは…
そのものを自分の中で想像し、作り出し、生み出すということ。
身振りあそび、こころあそびでは、教師が相手役をすることで、自分なるうとする役と向き合い、役を交代した時に自分の中で新しく生み出した役柄を演じることが出来ます。つまり、誰かを真似るのではなく、ただ一つの自分だけの役柄を生み出しているのです！

副園長 金谷 康江

役を



二月十六日(金)
天白文化小劇場にて『劇あそび発表会』が行なわれました。
劇あそびは、絵話での読み聞かせから始まり、身振りあそび、こころあそび、劇あそびへと発展していきます。子どもたちは、これらの遊びを通して、表現することを楽しみ、様々な登場人物になりきります。
今年も、子どもたちが堂々と演じる姿に、お客さまからたくさん拍手をいただきました。また、クラスの集大成として、子どもたちの成長が大きく感じられる素晴らしい発表会となりました。

三月一日(木)
幼稚園の裏山『うるおいの森』に登りました。

うるおいの森
「うるおいの森」では、かつての天白沢の豊かな自然を目指し、起伏に富んだ地形を生かしながら、散策や自然観察の場として雑木林を保全するとともに、市内では貴重となった湿地や湧水池を再生していきます。

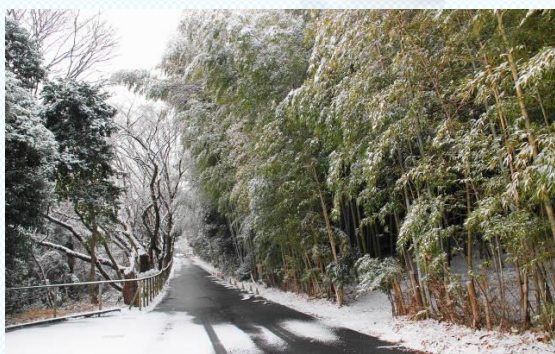
二月一日(木)
豆まき会が行われました。さあ、みんなで豆を投げて悪い鬼をやっつけましょう！
「鬼はーそと！ 福はーうち！」
とうとう鬼は逃げていってしまいました。
これで一年間、心も体も元気に過ごせそうですね！



この雪だるまもかわいい芸術作品です。



一月の終わりに、過去最強クラスの寒波が襲来しました。名古屋でも、凍結と雪に悩まされました。裏道もこの通り！雪の日ならではの芸術作品ですね。



一月十六日(火)
なわとびチャンピオン大会。
一月二十三日(火)
年長のドッジボール大会がありました。寒い中、最後までよく頑張りましたね。



『おおきくなったら』

この時期になると、家の近くでもおもしろい鳴き声があります。「ホーケツ」「ケッキョー」「ホーホー」…。ウグイスの子どもが、一生懸命鳴き声の練習をしているのです。

梅や桃の花が咲き、野草が少しずつ小さな葉や花をつけ、うららかな春の光がさす三月、お別れの春、出会いの春の季節となりました。

日本の学校は、四季を感じ、暑さ、寒さをのりこえて、一年の終わりを迎えるため、今年は記録的な寒波も手伝って、新しい春が本当にあなたかく、うれしく感じます。

手元におもいでちょう(修了文集)が届きました。毎年、『おおきくなったら』という題で、年長組の子どもたちの絵日記が一冊につづられます。

「ゴックさんになって、おいしい料理でよろこんでもらいたい。」「おいしゃさんになって、かぜをなおしてあげたい。」「ピアノの先生になって、ピアノをじょうずにひきたい。」など、未来のたくさんの夢や希望が絵と文字であふれていました。

好きなこと、やりたいことを見つけましょう。そして一度きめた目標や夢をあきらめず、世のため、人のためになる大人になりましょう。そのためには、もちろん努力が必要です。

新しい春には美しい鳴き声が響きます。「ホーホケッキョー！」「ウグイスのよみかさねて、多くの人に感動してもらえらる大人になりましょう。」

園長 岡田 勝彦